

競争入札設計図書等に関する回答書

令和 8 年 1 月 2 3 日

福島県相双建設事務所長 佐藤 敬

工事（委託業務）番号	第 2 5 - 4 1 3 7 0 - 0 2 3 4 号
工事（委託業務）名	道路橋りょう整備（再復）工事（盛土）
質 問 事 項	
<div>1. 当該計画敷地内に生育している樹木の伐採及び既伐採済の幹・枝を処分・搬出の前作業として、集積及び小運搬に係る費用等について、設計変更の協議対象となりますか。ご教示願います。</div> <div>2. 既発注済施工中の区域を跨いで、当該工区へ土砂搬送することについての様々な調整事項や問題点が考えられます。工程計画検討における参考情報といたしたためご教授願います。</div> <div>3. 既発注工事において、盛土材の規格を外れる岩塊の粒径処理作業（クラッシャーによる破碎処理等）が行われておりますが、これらの土砂を当該工事では施工個所まで運搬することとなります。この運搬費用について、設計変更の協議対象となりますでしょうか。ご教示願います。</div> <div>4. 現工事用道路は敷鉄板敷による 1 車線の急登坂路（約 11％）構造であったため、冬期間の走行における危険性等を鑑み、アスファルト舗装に改修されましたが、今後、多くの交通量による損傷が危惧されます。そのため、維持補修費用等についてどのように考えておられるのかをご教示願います。</div> <div>5. 現工事用道路が 1 車線交互通行のため、残土等搬送車の待機状態が既に発生しています。このため、土砂が円滑に搬入されないことから、既発注工事の盛土工事の受け入れ地では、土砂敷き均し・盛土作業に掛かる重機稼働と作業量が見合わず、非効率的な状態となっています。 このことにより、盛土工事に多くの日数を要し、併せて関連経費等も掛かり増しが発生しています。 当該工事（今回発注工事）においても同様になることが想定され、これらの実態を勘案した作業効率の見直しや補正等を適正に行っていただくことは可能でしょうか。ご教示願います。</div> <div>6. 既発注済み工事 2 件と当該工事の 3 件で盛土材を共有することになりますが、盛土材の供給が計画どおりに供給されない場合は、工事中止又は休止する期間を設けることとなりますでしょうか。ご教示願います。</div>	

<p>7. 既発注済み工事の公告時質問に現工事用道路の能力不足や効率低下等の問題について、挙げさせて頂きましたが、今回の工事を含めて、残土処理総量が約 384 千m^3となります。トンネル工事が本格的になるとさらに多くの土砂搬送車（ダンプトラック）の搬送運行台数及び待機台数による工事全体の稼働率低下が想定されます。</p> <p>上記の実態を併せて勘案され、これらに対応するためにも抜本的な改善策として、新たに相応の工事用道路を設けるなどの根本的な見直しが必要であると考えます。上記質問を踏まえた今後の対応についてご教示願います。</p> <p>8. 金抜き設計書 頁 0-0001 単価適用日が「00-07. 11. 33(0)」と表記されております。正しい単価適用日をご教示願います。</p> <p>9. 採用単価表 番号 13 ブロックマットについて、建設物価と積算資料の掲載ではそれぞれの製品名及び規格が異なっているように見受けられます。採用されているブロックマットの製品名及び規格をご教示願います。</p>	
回 答 事 項	
<p>1. 現地踏査及び施工計画策定により、伐採木や既に伐採済みの幹・枝の集積や小運搬にかかる施工費は、福島県工事請負契約約款第 18 条に基づき、協議の対象とします。</p> <p>2. 当該工区（1 工区）へのパイロット道路は施工済みとなっています。特記仕様書第 10 章 3 項に記載のある関連工事との調整が必要となります。なお、特記仕様書第 10 章 11 項のとおり、支障物件はありません。</p> <p>3. 粒径処理作業により発生した土砂の運搬費用については、福島県工事請負契約約款第 18 条に基づき、協議の対象とします。</p> <p>4. 運搬路が損傷した場合の維持補修費用等については、福島県工事請負契約約款第 18 条に基づき、協議の対象とします。</p> <p>5. 福島県工事請負契約約款第 18 条に基づき、協議の対象としますが、関係各社で組織する協議会を設立し、そのなかで問題点の原因抽出や課題を解決すべく検討を行います。協議会では、検討結果を基に各社の調整事項等をルール化していくことで、課題の解決や施工性の向上を図っていく考えです。</p> <p>6. 工事を施工できないと認められる場合は、福島県工事請負契約約款第 20 条に基づき、協議の対象とします。</p> <p>7. 抜本的な対策については、既発注済み工事などで検討中ですが、新たに必要な工種等が発生した場合は、福島県工事請負契約約款第 18 条に基づき、協議の対象とします。</p> <p>8. 適用単価は令和 7 年 1 1 月 1 日です。</p>	

9. 建設物価と積算資料の規格の表記は次のとおり異なりますが、同等品と見なしております。なお、製品名については公表いたしておりません。

【建設物価】

- ・規格 t 100

【積算資料】

- ・規格 標準型 1600×2000～8000

※福島県測量等委託業務条件付一般競争入札試行要領(平成 20 年 3 月 28 日付け 19 財第 7998 号)及び農林水産部又は土木部が所掌する測量等の請負契約に係る指名競争入札事務処理手順(平成 20 年 3 月 28 日付け 19 財第 7986 号入札改革グループ参事通知)に基づき使用する場合は、工事を委託業務に改めること。